

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（玄海原子力発電所及び川内原子力発電所 設置変更許可申請（標準応答スペクトル¹の規制への取り入れ））

2. 日 時：令和5年11月22日 15時30分～15時55分

3. 場 所：原子力規制庁 9階C会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官、宮本上席安全審査官、片桐主任安全審査官、

小野安全審査官、田代審査チーム員

九州電力株式会社：

原子力発電本部 原子力設備グループ 副長※、他5名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

（1）玄海原子力発電所の発電用原子炉の設置変更（3号及び4号発電用原子炉施設の変更）に係る原子炉等規制法第43条3の6第1項第2号（経理的基礎に係る部分に限る）基準への適合について（GSs-6-0）

（2）川内原子力発電所の発電用原子炉の設置変更（1号及び2号発電用原子炉施設の変更）に係る原子炉等規制法第43条3の6第1項第2号（経理的基礎に係る部分に限る）基準への適合について（SSs-6-0）

以上

¹ 「震源を特定せず策定する地震動に関する検討チーム」の検討結果において「震源を特定せず策定する地震動（全国共通）」として取りまとめた標準応答スペクトルをいう。

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、規制庁のですそれでは本日のヒアリングを始めます本日のヒアリングについては限界と
0:00:08	あと川内の経理的基礎に、の基準的基準への適合について、
0:00:14	S江藤それでは9. から説明をお願いします。
0:00:24	はい九州電力から笠野です。それで資料に基づいて説明をさせていただきます。
0:00:34	説明の流れですけれども各資料川内玄海それぞれ作成をしておりますが、ちょっと前後しますけど、
0:00:44	ページ数でいうと3ページ目の1ポツの工事に関する資金のところ、
0:00:50	が千田委員からそれぞれ異なりますので、まずそこまでを先に川内議会説明をさせていただいた後に、2ポツの資金調達実績及び計画に関しては川内玄海共通の内容というか同じ内容になっておりますので、
0:01:05	そこをまとめて説明をさせていただきたいと思います。
0:01:10	では千田井川の資料で説明をさせていただきます資料番号S s -6の0になります。
0:01:25	ページ数、1ページ目をお願いします。
0:01:29	こちらの方の表で、審査事項1合成設置変更許可申請書の記載に関して記載をまとめてございますが、
0:01:38	一番右側の列の方に添付書類3の記載を記載してございます。
0:01:45	審査事項として、
0:01:47	事業者側としてg a g e地層があることというふうに、時間の基準がございますので、そこに対して、
0:01:55	適合性、
0:01:57	こういった観点で適合をしているというところを、記載をさせていただきます。適合性の加古委員の方ですけれども、今回の設置、
0:02:08	設置変更許可申請に基づいて標準応答スペクトルを考慮した地震動の追加に係る香典資金として、川内川350億円としてます。
0:02:18	口6項の方で、工事の資金調達計画に関しては、自己資金社債及び借入金により調達するという形で、
0:02:27	適合してるものと考えております。
0:02:32	ちょっと
0:02:34	資料、またますけれども、玄海側、同じく、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:39	資料の1ページ目に関して猪野工事に関する資金に関して、
0:02:46	限界が80億円としてその他、地裁概ねと同じになっております。
0:02:55	引き続きまして資料の方川内川にもう一度戻っていただきまして、資料3ページの方変更の工事に要する資金のバック
0:03:05	について説明させていただきます。
0:03:08	はい。九州電力鹿島と申します。
0:03:12	資料3ページの1ポツ、工事変更の工事に要する資金の額と、
0:03:17	ということで今回の発電用原子炉施設の変更に要する資金は、約350億円。
0:03:24	いうところで、年度の展開を表のように記載しております。こちらですが、資料5ページの方に工事計画をつけておりまして、
0:03:38	こちらの工事計画をもとに、それぞれ年度でどのくらいの資金が、支出があるかというところで記載を、計画を記載しております。
0:03:50	1ポツの、
0:03:52	説明としては以上です。
0:03:55	続きまして
0:03:57	玄海の方を同様に説明させていただきます。玄海も3、3ページ目、1ポツの方で、
0:04:05	玄海の方は約80億円、それに伴って年度展開として表のように、計画してございます。
0:04:13	こちら、同様に5ページの方に工事計画の方を記載しておりまして、こちらをもとに、年度の支出の計画というものを記載してございます。
0:04:27	1ポツの説明としては以上になります。
0:04:30	続けて、それら続けて資料の2ポツの資金調達実績及び計画の方の説明をさせていただきます。
0:04:43	はい。九州電力の高平と申します。元こちらでもいいんですが玄海の方の資料133ページの資料1の後半の部分をご覧ください。
0:04:54	資金調達実績及び計画というところですか。玄海川内、共通のところでございます。
0:05:00	九州電力の過去5年間の実績を下の表の通り、返し記載しております。調達資金につきましては自己資金に加えまして社債、借入金での調達で翹菌を確保していると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:13	いうところでございます。今後も引き続き、必要な資金を安定的に調達できるように取り組んでいきたいと思っております。
0:05:20	参考として当社格付機関から格付もらっておりますけれども投資適格の発行体の格付が付与されているというところでございます。
0:05:30	4 ページに、こちらの特に社債と借入金等の発行の内訳等を示した、詳細の内訳を記載しております。
0:05:40	後の 5 ペー6 ページの資料 2 につきましては 20、2017 年以前の調達実績を、同じ内訳の中身として記載をしております。
0:05:53	はい。以上です。
0:05:57	はい。こちらからは以上ですけれども何か質問事項ございますでしょうか。
0:06:02	はい、規制庁のでそれでは確認に入らせていただきたいと思えますちょっと私から 3 点ほど確認があります。
0:06:10	1 点目なんですけれどもちょっとマスキング箇所の内容になりますので録音一時停止したいと思います。
0:06:20	規制庁のです江藤それではマスキング部分の確認が終わりましたので
0:06:26	ヒアリングを再開したいと思います。で、2 ポツでちょっと確認させていただきたいんですけれども、
0:06:34	過去の
0:06:35	6 ページから 2013 年から、
0:06:41	資金調達の実績っていうのが書いてあってごめんなさい。
0:06:47	2000、また 3 ページに戻っていただいて、2022 年度だけ自己資金がコウー赤字になってるのって、
0:06:57	なぜなのかっていうところをちょっと説明していただけないでしょうか。
0:07:02	はい。九州電力高井です昨年はですね燃料費が高騰しておったというところと、あとちょっと原子力の工事等で原子力動かない期間が想定より、
0:07:17	d u なかったというところで、料金がね、燃料の増分と原子力のちょっと利用率の減少分が重なったということで赤字になったことで
0:07:27	こちら自己資金の方はマイナスとして出たというところでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:35	他、規制庁さんのわかりました燃料費の高騰等まあちょっと運転は手が停止してた期間があってもちょっと自己資金がマイナスになってしまったんだけど、そこは借入金で対応したので大丈夫ですってということですね。
0:07:48	そうですね。はい。その分の必要な上に書いてます工事資金につきましては、主に借り入れ。
0:07:55	オオバふやしたことで対応したというところでございます。
0:08:01	はい、規制庁オノですあれで、ちなみにあれなんですかね今ちょっとこの資料にはなくて
0:08:11	儘田アノ。
0:08:13	わからないんですけど、今年度とかっていうのはあれなんですかね、自己資金とかはあれなんですけど少し回復してきたりとかってするんですか。これちょっと書いてなくて言えない話だったら、すみません大丈夫ですけど。
0:08:25	九州電力と個別というところではまだちょっと申し上げられないんですけども 99. グループ全体の連結の経常利益は、もう 1700 億円の見通しということで公表しておりますので、
0:08:40	それと去年の収支を比べますと自己資金は回復するものと見ております。
0:08:48	はい規制庁のですありがとうございます。最後すいません 4 ページのところでもっと確認させていただきたくて、
0:09:03	あ、すいませんところの薄。
0:09:06	表の中の、
0:09:09	ちょっと見たことないやつはコマーシャルペーパーっていうのは、何なんですかね純増権って書いてあって、
0:09:19	ですね昔の手形みたいなやつで家で電子、
0:09:25	CP という、電子的な手が手形やつなつなぎ資金ですね 2、3 ヶ月だけかかりますとかいうところを、通常の短期借り入れとはちょっと別。
0:09:36	借り入れる種類が違うので、ちょっと個別で入れてるというところでは、
0:09:40	で、こちらは仮タケシタというのがコウ。
0:09:45	年度で何回もありますので、年度末の残高、年度末の増減だけちょっと記載しておるという形で、しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:54	2022年度400ってというのは、22年度の3月、今年の3月末に、コマース紙という間で借りた残高が400、
0:10:08	そうですね、400あったということで400増えタカヤですね、増えたということです。去年よりも400増えたということですこれは規制庁です。これ、上で
0:10:19	なんです。
0:10:21	わかりましたの赤字とか黒字とかがこう出てくるのかっていうのはわかってで、
0:10:26	あれなんですかね。
0:10:29	長短い債券みたいなものってことですかちょっとそれとは違うんですけど当社側からすると、もう本当に期間の短い、2、3ヶ月場合によってはもう1週間か2週間ぐらい。
0:10:40	しか借りない。
0:10:41	何か借入借入といいますかはい、そういう。
0:10:44	どっちかと社債に近い。
0:10:46	期間短い社債という感じで見てもらっていいと思います。
0:10:50	規制庁ですわかりましたありがとうございます私からの確認は以上です。
0:10:57	規制庁のそこは何かありますか規制庁側から。
0:11:06	規制庁のですすみませんごめんなさい、もう一度マスキング部分の確認をしたいので一時録音を提出します。
0:11:16	はい、規制庁のでそれではあのマスキング部分の確認終わりましたので、録音を再開したいと思います。
0:11:22	規制庁側からの確認事項は特にございません。最後に九州電力の方から何か確認することございますでしょうか。
0:11:32	九州電力のタゾエです。特にございません。はい。
0:11:37	ありがとうございますそれでは本日のヒアリングを終了したいと思います。どうもありがとうございました。
0:11:43	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。